

【提出様式】 令和7年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立

椎名町小

学校

評価対象者数（人）			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
430	403	17	8

領域	豊島区教育 ビジョン 2025 基本方針等	評価 番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に 向けた 改善策			
				児童・生徒				保護者					地域					教職員					自己評価 概要	学校関係者 評価の意見	標 語
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3	2	1				
Ⅱ	就学前から小 学校・中学校 への円滑な接 続	Ⅱ－1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学 校、中学校)と連携を図ろうとしている。					72	110	9	0	13	8	0	0	0	0	12	5	0	0	・保幼小連携では、南長崎幼稚園児と2年生が学校園 でサツマイモ掘り、1年生が交流会、近隣幼・保の園 児の学校探検等を行い、のべ300名近い園児が来 校し、交流をしている。 ・「稚小こどもアート展」では、区民ひろば椎名町 と共同開催を行い、1000名を超える来館者があり 地域の方からも好評を得ることができた。 ・また連携では、各学年とも情報交換会を開催し、 ・タブレット端末等のICTを毎日、計画的・効 果的に活用し、分かる・楽しい授業の実現と 児童の情報活用能力の育成を図った。	○各幼稚園・保育園との連携がで きていて、各行事ごとに多くの園 児が学校にきて体験をしている。	A	南長崎幼稚園、明豊中との連携は、校内研究とも関連させ 引き続き計画的に取り組み、充実を図る。他の幼稚園・保育園 との連携も継続していく。保幼小中連携取組については、 積極的に発信する。
Ⅰ	確かな 学力の育成	Ⅰ－1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分 かりやすい授業を行っている。	児 童 ・ 生 徒 を 対 象 と し た ア ン ケ ー ト 集 計 表 を ご 参 照 く だ さ い 。				57	130	6	1	10	8	0	0	0	0	10	7	0	0	・タブレット端末等のICTを毎日、計画的・効 果的に活用し、分かる・楽しい授業の実現と 児童の情報活用能力の育成を図った。	○子供たちがタブレットを自在に 使いこなす姿を見て、今の教育内 容が良かった。 ▲土曜授業の回数が少なくなった ため、授業の様子を見る回数が 減ってしまった。	B	日々の授業における個別最適や協働的な学びについてさら に教材研究を深め、「分かる、できる、楽しい」授業の実現 にめざし、授業改善に努めていく。
		Ⅰ－2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用によ り、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの 意欲の向上に取り組んでいる。					76	112	3	1	12	8	0	0	0	0	13	4	0	0				
	豊かな 心の育成	Ⅰ－3	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をと おして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づく りを推進している。					56	118	3	3	24	6	2	0	0	0	10	7	0	0	・道徳科の授業を中心に各教科や特別活動、生活指 導、全校朝会など様々な場面で豊かな心の醸成を 図った。 ・道徳科の学習については「親切、思いやり」「友 情、信頼」を重点とした。道徳授業地区公開講座で は、「心にも栄養を～今、よりよいかわり方を考え る」をテーマに講演会を実施した。	○学校内で会ったときに挨拶をし てくれる児童が増えている。 ▲言葉遣いの悪い児童の様子が気 になる。心の教育を充実させてほ しい。	B	道徳科の時間については、子供たちの心が豊かになるよう に、動作化や役割演技、ICTや映像など様々な手立てを取り入 れた指導を工夫する。 日常の教育活動において、友達や家族、教職員など、他者 に対する思いやりや優しい心についての指導を重ねていく。
		Ⅰ－4	学校は、生命を大切にする態度や思いやり、優し い心を育てている。					68	123	3	1	9	1	3	0	0	0	10	7	0	0				
	健やかな 体の育成	Ⅰ－5	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極 的に取り組んでいる。					53	130	13	2	6	6	2	0	0	0	5	10	2	0	・休み時間の校庭・体育館利用を見直し、全 児童が十分に運動できる時間を確保した。 ・運動の日常化に向けて、毎週ストレッチタ イムを行った。2月には体力向上をねらいとし た前項で取り組むランランタイム(ペース走) を設定した。 ・食育の特別授業、季節や行事の給食メ ニューの充実も継続しているが、特別メ ニューの解説やマナー等の指導をさらに行っ ていく。	○給食が美味しい、学校園で作物 を育てるのが楽しいと学校を楽し んでいる。 ▲例年猛暑でプールになかなか入 れない点について、学校単体では 対応が難しいと思いますが、区全 体で考えていただきたいと思います す。	A	ストレッチタイムや体力づくり週間の継続・発展に取り組 み、運動の日常化を図る。体育学習の充実、体力テストを活 用した特別授業、がん教育など、給食指導等を通じた食育な どを行い、体力向上、健康の保持増進を目指す。 給食指導については、給食主任や栄養士を中心にさらに充 実させ、指導の徹底を図る。
		Ⅰ－6	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に 取り組んでいる。					82	112	4	0	6	6	2	0	0	0	11	6	0	0				
Ⅲ	一人一人を大 切にする 教育の推進	Ⅲ－1	学校は、いじめ防止等（未然防止、早期発見、早 期対応）に学校全体で組織的に対応している。				46	128	7	4	19	8	0	0	0	0	13	4	0	0	・学期1回以上のいじめ等についてアン ケート、毎週の生活指導夕会での情報共 有を行い、子供たちの思いを受け止め即 時の対応を心がけた。いじめ対策委員会 を毎月行い、いじめ防止・早期対応に努 めた。特別支援教育等について保護者の「分 からない」の回答を減らすため、保護者会 での説明や便りの発信・実践報告等 を行ったところ、理解が深まった。	○課題を抱えている児童の数がと ても多くなっているように感じら れる。その中でも空間づくりや人 員配置などそれぞれに対応を変え て行っている。	B	引き続き、子供たち一人一人に寄り添い、丁寧な指導を心 がける。教職員間のコミュニケーションを密にし、小さな変 化も見逃さないように努める。いじめ防止等に教職員全員で 取り組む。 特別支援教育については、担任との連携を深めるなど、充 実を図る。学校便り、保護者会等で資料を用いて具体的に取 組等を説明するなどして、引き続き情報発信に努める。	
		Ⅲ－2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一 人一人に寄り添いながら、指導を行っている。				56	118	3	3	24	8	0	0	0	0	9	8	0	0					
		Ⅲ－3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一 人一人に適切な指導を行っている。				52	119	5	1	27	8	0	0	0	0	11	6	0	0					
Ⅴ	教師力の向上 と魅力ある 学校づくり	Ⅴ－1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生 活を送っている。				49	140	8	0	7	8	0	0	0	0	7	9	1	0	・「椎名町小スタンダード」に基づき、学校 のルール・マナーなどについて、子供だけ でなく保護者・地域とも共有して指導の徹底を 図った。全校で統一した指導ができるよう、 継続する。学校外から寄せられた課題には、 組織をあげて丁寧に対応した。	○先生方が明るく、優しい先生が 多い、子供が毎日楽しく通えてい る。 ▲時代かもしれませんが、先生方 の指導に「厳しさ」がもう少し あってもいいように思います。	B	学校のルールを見直し、全教職員、全学年で共通理解を固 り、きちんと守るよう指導を重ね、さらに秩序ある学校生活 を送れるようにする。 保護者や地域の方のご意見について、様々な方法で受け止 め、一層丁寧に対応し協働体制の構築を図る。	
		Ⅴ－2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止 め、学校改善に生かしている。				56	126	3	1	18	8	0	0	0	0	7	10	0	0					
	家庭・地域と の連携	Ⅴ－3	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりや ホームページ、学校公開等によって、分かりやす く伝えている。				59	132	6	3	4	8	0	0	0	0	6	11	0	0	・タブレットの活用による情報の送受信 のシステムを整えた。 ・特色ある地域の資源活用の充実や、地 域人材との連携を充実させたことで、子 供が地域を大切にする心を培うことがで きた。	○地域等とのコミュニケーション が取れており、子供の教育に生か している。 ○地域との結びつきが強く暖かい 目で見守っていただけていると ころが良いと思います。 ▲学びのサポーターなど関心はあ りますが、運動会・遠足などの日 程が近すぎて、仕事のお休みが取 れませんでした。	A	学校だより等は原則としてオンラインによる発信とし、教育 DX化も進めていく。ホームページ、タブレットなどによる 多様な情報発信を引き続き行い、学校の様子をより分かりや すく伝えていく。 今後も町会の方や地域の文化財を活用し、体験的な学習を 充実させ、「まちと響き合う教育」を推進していく。	
		Ⅴ－4	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育 している。				101	101	2	0	0	8	0	0	0	0	13	4	0	0					
	特色ある 教育活動	Ⅴ－6	学校は、SDGs達成への取り組みに関する教育を推 進している。				74	119	3	8	8	8	0	0	0	0	10	7	0	0	・地域や「稚小学びのサポーター」の協働体 制が充実し、計画的・実践的な学習が実現し た。トキワ荘との連携、「区民ひろば」で の子供アート展の開催、地域・保護者による町 探検などを行い、SDGs達成の意識を醸成する ことができた。	○2年生での学習を通して、野菜 の育て方を調べ、種まきから収穫 までの一連の体験ができたこと に、親としてとてもありがたく感 じています。 6年生の鼓笛も他にはない良い体 験だと思っています。稚小だから出来 ることがたくさんあって親として も通わせて良かったと思います。	A	恵まれた地域の教育資源(トキワ荘、区民ひろば等の諸施 設、伝統文化等や学校園)を活用し、引き続きSDGsの担い手 を育成する教育活動を推進する。全校の活動予定をまとめて 示し「稚小学びのサポーター」の活動を充実させ、より多く の家庭や地域の方と共に教育活動を推進していく。	
Ⅳ	働き方改革	Ⅳ－1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学 校」を意識した業務分担等により、組織的に業務 の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。														10	6	1	0	児童主体の個別最適な学びを保証するた め、教職員一同一丸となって、指導にあた っている。		A	・保護者連絡アプリを活用し、保護者連絡をより効率化する とともに、保護者にとってもより簡単に欠席やアンケートが 取れる体制作りを推進していく。 ・校内業務を見直すとともに業務をマニュアル化し、属人化 を防ぐ	

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある